

手が痛くなったボランティア

ニュースレター発送に参加して

株式会社アイエンター 池田恵

今回このボランティアへは、会社の社会貢献活動の一環として、同僚数名と参加しました。

私が所属している会社では、年に1回以上、役員含め全社的に、社会に貢献できる活動に参加しています。

過去には、老人ホームでのイベントボランティアや、支援物資の発送などを行ってきましたが、今回のようなニュースレター発送作業は初めての体験となりました。

参加して良かったことは、団体の方から、「NPO 法人とは何か」、「認定 NPO 法人とは何か」、また、「なぜ、当団体が設立するに至ったか」というような、今回のボランティアにまつわるお話を聞くことができたことです。



大澤様の考えや、これまでの経歴などを聞くこともでき、ボランティアを体験するだけでなく、勉強になることが非常に多くありました。

団体会費の使用方法も明文化されており、初心者の私にも易しい説明で大変わかりやすかったです。

参加している方々との交流もちろん、色々な業界、色々な年代の方と一緒に活動できたこと全てが、私にとっての学びとなり、参加して良かったと感じています。

ボランティアは楽しい！！

ニュースレターの送り状には、手書きでメッセージを添えましたが、「手書きであることの大切さ」についてもお話がありました。

私個人としては、手紙やカードを書くことが非常に好きのため、手書きでメッセージを書くという温かい気持ちについてはとても共感いたしました。

ただ、ショックだったことは、十数枚かメッセージを書くにつれて手が痛くなってしまい、文字が上手に書けなくなってしまったことです。

また、書きたい漢字も即座に浮かばないこともあり、最近はパソコン操作ばかりで、いかに自分自身が筆をとっていないかということを感じました。

昨今はあまり文字を書くことも減ってきてはいますが、私は、人の手で書くことはパソコンで文書を作成するよりも心がこもったものと考えています。

文字を書けることの大切さと喜びを忘れないようにしたいと、このボランティアを通して再認識することができました。

最後に、未経験ながら参加した私共を、快く受け入れてくださった日韓アジア基金・日本の皆様に心より感謝申し上げます。

非常に貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。



無事終わってほっとして